

資料 1

令和6年度献血事業報告について



愛顔の高校生献血推進会議 成果物

～ポロシャツデザイン～

令和 6 年度 愛媛県の献血実績 (令和 6 年 12 月末現在)

1 血液必要量と献血実績について

区 分	令和 6 年度			令和 5 年度		
	実 績	計画値	進捗率	実 績	計画値	達成率
献血者数	39,141 人	51,886 人	75.4%	52,964 人	51,448 人	102.9%
採 血 量	17,919 L	23,393 L	76.6%	23,996 L	23,088 L	103.9%
原料血漿確保量	10,917 L	13,853 L	78.8%	14,747 L	13,905 L	106.1%

2 種類別献血者数

区 分	令和 6 年度			令和 5 年度		参考
	人数 【※実績予想】	構成比 ①	①－②	人数	構成比 ②	令和 5 年度 全国構成比
200mL 献血	80 人 【107】	0.2%	0.0	116 人	0.2%	11.1%
400mL 献血	26,577 人 【35,436】	67.9%	-0.5	36,238 人	68.4%	59.4%
成分献血	12,484 人 【16,645】	31.9%	+0.5	16,610 人	31.4%	39.5%
合 計	39,141 人 【52,188】	100.0%		52,964 人	100.0%	100.0%

※【実績予想】は、4月から12月までの実績を12/9倍して年間の値を予測したもの。

3 輸血用血液製剤供給数 (単位換算本数)

区 分	令和 6 年度		令和 5 年度	
	本 数 【※実績予想】	構成比	本 数	構成比
全血製剤	0 本 【0】	0.0%	0 本	0.0%
赤血球製剤	52,599 本 【70,132】	41.6%	69,440 本	41.9%
血漿製剤	15,042 本 【20,056】	11.9%	16,935 本	10.9%
血小板製剤	58,740 本 【78,320】	46.5%	81,175 本	47.2%
合 計	126,381 本 【168,508】	100.0%	167,550 本	100.0%

※【実績予想】は、4月から12月までの実績を12/9倍して年間の値を予測したもの。

4 男女・年齢別献血者数

区 分		令和 6 年度			令和 5 年度	
		人 数	構成比①	①－②	人 数	構成比②
男 女 別	男性	28,903 人	73.8%	+0.9	38,621 人	72.9%
	女性	10,238 人	26.2%	-0.9	14,343 人	27.1%
年 齢 別	16～19 歳	1,691 人	4.3%	+0.3	2,108 人	4.0%
	20～29 歳	5,396 人	13.8%	-0.4	7,526 人	14.2%
	30～39 歳	5,472 人	14.0%	-0.1	7,487 人	14.1%
	40～49 歳	9,030 人	23.1%	-1.0	12,773 人	24.1%
	50～59 歳	11,892 人	30.4%	+0.9	15,618 人	29.5%
	60～69 歳	5,660 人	14.5%	+0.4	7,452 人	14.1%
合 計		39,141 人	100.0%		52,964 人	100.0%

5 学生献血者数

年 度	高校生	その他学生	合 計
令和3年度	751 人	3,824 人	4,575 人
令和4年度	640 人	3,454 人	4,094 人
令和5年度	859 人	2,959 人	3,818 人
令和6年度 (4～12月)	607 人	2,448 人	3,055 人

6 高等学校における学内献血実績

年 度	延べ実施回数（校数）	献血生徒数
令和3年度	11 回（11 校）	153 人
令和4年度	13 回（11 校）	191 人
令和5年度	25 回（23 校）	440 人
令和6年度 (4～12月)	15 回（14 校）	298 人

※令和7年1～3月に高等学校4校に配車予定

7 大学・各種専門学校における献血実績

年 度	大学・短期大学		高等専門学校・各種専門学校		献血者数 合計
	延べ実施回数	献血者数	延べ実施回数	献血者数	
令和3年度	12 回（4 校）	456 人	12 回（8 校）	268 人	724 人
令和4年度	17 回（8 校）	661 人	9 回（8 校）	215 人	846 人
令和5年度	17 回（6 校）	658 人	8 回（5 校）	208 人	866 人
令和6年度 (4～12月)	18 回（7 校）	766 人	7 回（6 校）	273 人	1,039 人

8 献血協力企業及び団体数

年 度	企業数	団体数	合 計
令和4年度	431	109	540
令和5年度	396	116	512
令和6年度 (4～12月)	355	94	449

9 複数回献血者数

年 度	献血者実数	献血者数		献血者総数
		年1回献血者	複数回献血者	
令和4年度	28,889 人	17,998 人	10,891 人	53,641 人
令和5年度	28,321 人	17,209 人	11,112 人	52,964 人
令和6年度 (4～12月)	20,419 人	13,708 人	6,711 人	39,141 人

10 ラブラッド登録状況

年 度	登録者数（末現在）	新規登録数（期間中）
令和4年度	32,329 人	2,841 人
令和5年度	35,911 人	3,406 人
令和6年度 (4～12月)	38,039 人	2,105 人

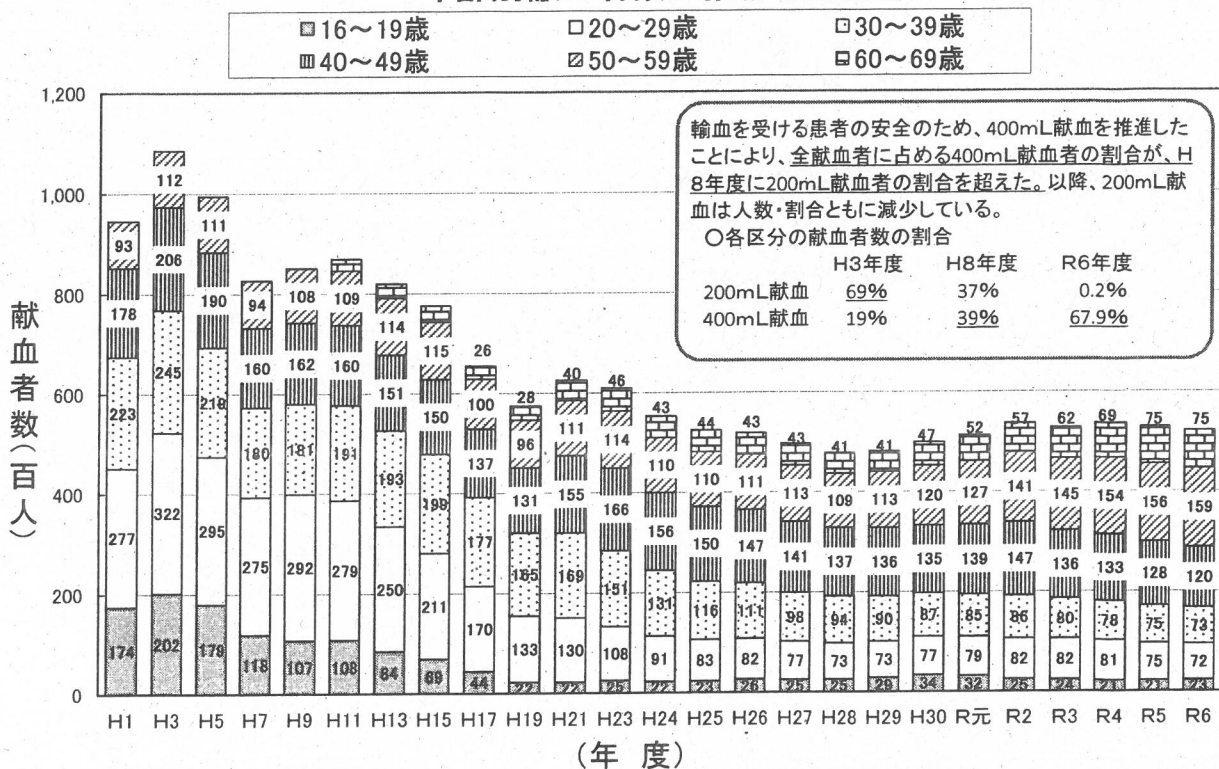
年齢別献血者数の推移（愛媛県）

本県では、平成3年度には若年層献血者（10代・20代・30代）が全献血者数の7割を占めていたのに対して、令和5年度は約3割に減少している。

若年層献血者減少の理由としては、平成3年度当時主流であった200mL献血から400mL献血に移行したこと、医療機関における血液製剤の使用適正化によって総使用量が減少したことに加えて、若年層人口の減少や若年層の献血意識の低下、特に近年においては新型コロナウイルス感染症拡大による学内献血の機会の減少などが考えられる。

なお、若年層の献血率（人口に対する献血者の割合）は、近年、約6%で推移をしており更なる普及啓発が必要である。

年齢別献血者数の推移（愛媛県）



		H3年度 (本県の献血者数 ピーク)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 【予測値】
10代	献血者数	20,157人	2,447人	2,381人	2,109人	2,108人	2,255人
	全献血者数に占める割合	18.6%	4.5%	4.6%	3.9%	4.0%	4.2%
	献血率	—	4.7%	4.8%	4.3%	4.4%	4.8%
20代	献血者数	32,171人	8,401人	8,179人	8,138人	7,526人	7,195人
	全献血者数に占める割合	29.6%	15.6%	15.5%	15.2%	14.2%	15.4%
	献血率	—	7.2%	7.1%	7.2%	6.7%	6.5%
30代	献血者数	24,484人	8,719人	8,048人	7,796人	7,487人	7,296人
	全献血者数に占める割合	22.6%	16.1%	15.3%	14.5%	14.1%	13.7%
	献血率	—	6.2%	5.9%	5.9%	5.8%	5.8%
若年層献血者数		76,812人	19,567人	18,608人	18,043人	17,121人	16,746人
全献血者数に占める割合		70.8%	36.2%	35.2%	33.6%	32.3%	31.4%
若年層献血率		—	6.3%	6.2%	6.3%	6.0%	5.9%
全献血者数		108,539人	54,019人	52,791人	53,641人	52,964人	53,290人

※献血率は各年齢階級の人口に対する献血者の割合を示す。

若年層献血率は、10代（16～19歳）、20代及び30代の人口に対する献血者の割合を示す。

※最新年度の献血者数は、4月から12月までの9か月間の人数を9で割り戻し、12倍して1年間の数値を予測。

愛媛県の血液事業実績（令和6年度）

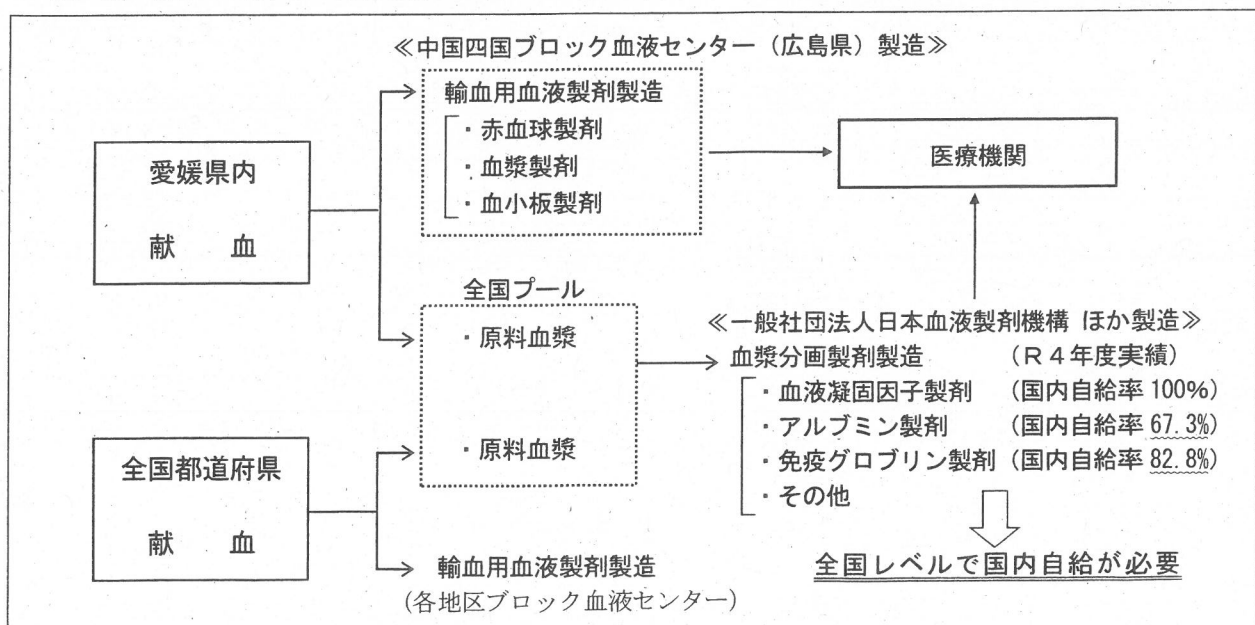
● 主な血液対策事業

実 施 日	内 容
5月22日	愛媛県献血事業関係担当者会議
7月1日～8月31日	愛の血液助け合い運動
7月25日	献血運動推進協力団体等に対する厚生労働大臣表彰及び感謝状伝達式並びに知事感謝状贈呈式
8月2日	小学生親子血液センター見学体験教室（共催：血液センター）
8月9日	愛顔の高校生献血推進会議（共催：血液センター、後援：県教育委員会）
9月29日	献血展示会（in くすりと薬草展・（於 松山大学））
1月1日～2月28日	「はたちの献血」キャンペーン
1月25日	愛媛県合同輸血療法委員会
2月21日	愛媛県献血推進計画策定検討委員会

● 献血普及啓発資材の作成・配布及び情報配信の状況

月	啓 発 資 材	配布先 又は 配信日
6月	愛の血液助け合い運動月間啓発ポスター（1,050枚） （厚生労働省作成分）	各保健所、市町、高等学校、大学、その他関係機関
7月	・FM愛媛 エンドリ（中高生向け情報番組コーナー） ・県政広報番組 #ひめ推し「学生の献血推進活動」 生徒保健委員研修会 チラシ約200枚＋呼び掛け	FM愛媛：7月4日 県政広報番組：7月28日 県内の高校の生徒保健委員と養護教諭（配布日：7月30日）
8月	愛媛県学校保健会養護部会研修会 チラシ約300枚	県内の小中学校、高校、特別支援学校養護教諭（配布日：8月6日）
12月	献血啓発リーフレット（34,000部） （デザイン：愛媛県学生献血推進協議会/作成：血液センター）	県下高校2～3年生全員、大学、専門学校、保健所、市町等
12月	「はたちの献血」キャンペーン啓発ポスター（810枚） （厚生労働省作成分）	各保健所、市町、大学、その他関係機関
1-2月	・県公式SNSを活用した情報配信 ・デジタルサイン広告を用いた動画配信（県庁第1別館1階）	SNS：1月15日、2月17日

（参考）献血血液と血液製剤



献血普及啓発に関する情報配信



(1) FM愛媛 エンドリ
(中高生向け情報配信番組)

【配信日】

2024年7月4日

【内容】

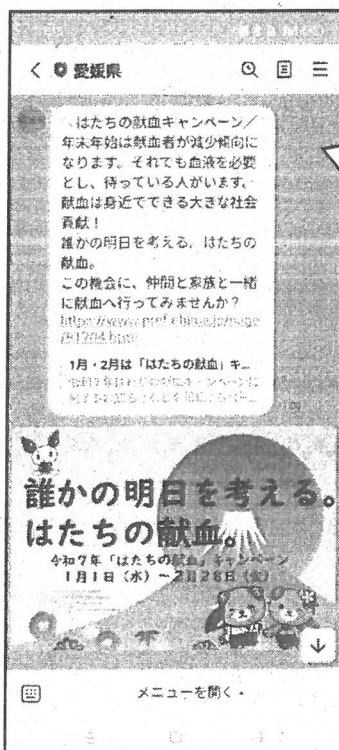
- ・献血の現状と献血への協力依頼
- ・サマーキャンペーンのお知らせ



(2) 南海放送 えひめの愛顔発信 #ひめ推し (県政広報番組)

【配信日】2024年7月28日(再放送8月4日)

- 【内容】
- ・学生推進協議会の紹介・活動の様子
 - ・献血の現状と課題
 - ・初回献血者(学生)のインタビュー



(3) 県公式SNSによる配信

【配信日】2025年1月15日
及び2月17日

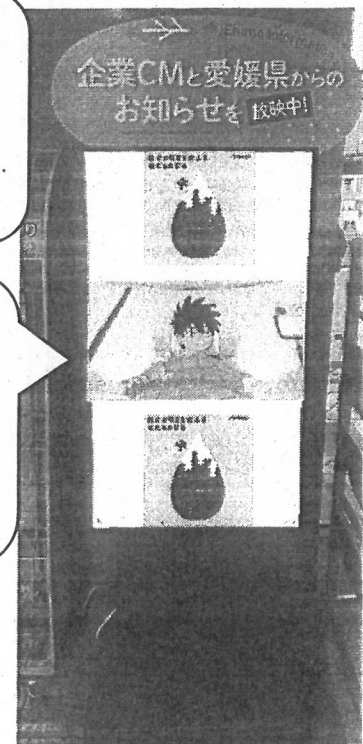
【内容】画像またはURLを
クリックし、県HPへ誘導

(4) デジタルサイネージ広告

【配信日】

2025年1月6日～2月28日

【内容】日本赤十字社作成の
動画(3種)



《 受 賞 団 体 一 覧 》

受賞名		団 体 名
厚生労働 大臣	表彰状 (3)	四国通建株式会社
		鬼北ライオンズクラブ
		伊予市役所
	感謝状 (11)	国土交通省四国地方整備局 大洲河川国道事務所
		大黒工業株式会社
		株式会社四電工 松山営業所
		松山刑務所
		喜多医師会病院
		西条市消防本部
		愛媛県松山西警察署
		愛媛県西条警察署
		八幡浜地区施設事務組合 消防本部
		今治市消防本部
		愛媛県警察本部 警備部機動隊
愛媛県知事 感謝状 (15)	株式会社四電工 愛媛支店	
	愛媛県今治警察署	
	株式会社あわしま堂 愛媛第一工場	
	伊予消防等事務組合 消防本部	
	伯方塩業株式会社 大三島工場	
	鬼北町役場	
	松山大学	
	新居浜市管工事業協同組合	
	国立大学法人 愛媛大学	
	医療法人恕風会 大洲記念病院	
	株式会社トーヨ	
	NECソリューションイノベータ株式会社 松山センター	
	四国医療サービス株式会社 愛媛工場	
	市立宇和島病院	
	自衛隊愛媛地方協力本部	

踏み出す一歩 今日の私が 誰かの未来

第60回献血運動推進全国大会「標語」募集
最優秀賞
岐阜県立海津明誠高等学校
綾飼 明日葉

7月は「愛の血液助け合い運動」月間

いつでも患者さんに血液をお届けできるよう、定期的な献血のご協力をお願いします。



血液は、長期保存ができず、人工的に造ることもできないため、1年を通じて持続的な献血へのご協力をお願いします。



少子化により献血可能な人口が減少している中、特に10代～30代の献血者が減少しています。そのため、若い世代の方々のご協力が重要です。



献血時の問診には正しく回答するとともに、検査を目的とした献血はご遠慮ください。エイズウイルスや肝炎ウイルスの感染初期には、強い感染力を持つにもかかわらず、最新の検査技術を用いても検出できない期間があります。感染症の検査をしたい場合は、保健所またはかかりつけの医師等へご相談ください。

献血Web会員サービス「ラブラッド」

より安全な血液を安定的に患者さんに届けるためには、複数回献血にご協力いただくことが重要です。日本赤十字社では複数回献血を推進するため、献血Web会員サービス「ラブラッド」を運営しています。令和4年9月28日から「ラブラッド」のアプリができました。献血の予約、事前の問診回答などがWebサイト・アプリどちらからでも可能です。

携帯電話・パソコンをお持ちの方はこちらから▶

ラブラッド



献血サポーター（企業・団体の皆様へ）

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」にご参加ください。「献血サポーター」となった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用していただくことができます。

携帯電話・パソコンをお持ちの方はこちらから▶

献血サポーター



【献血ができる年齢】

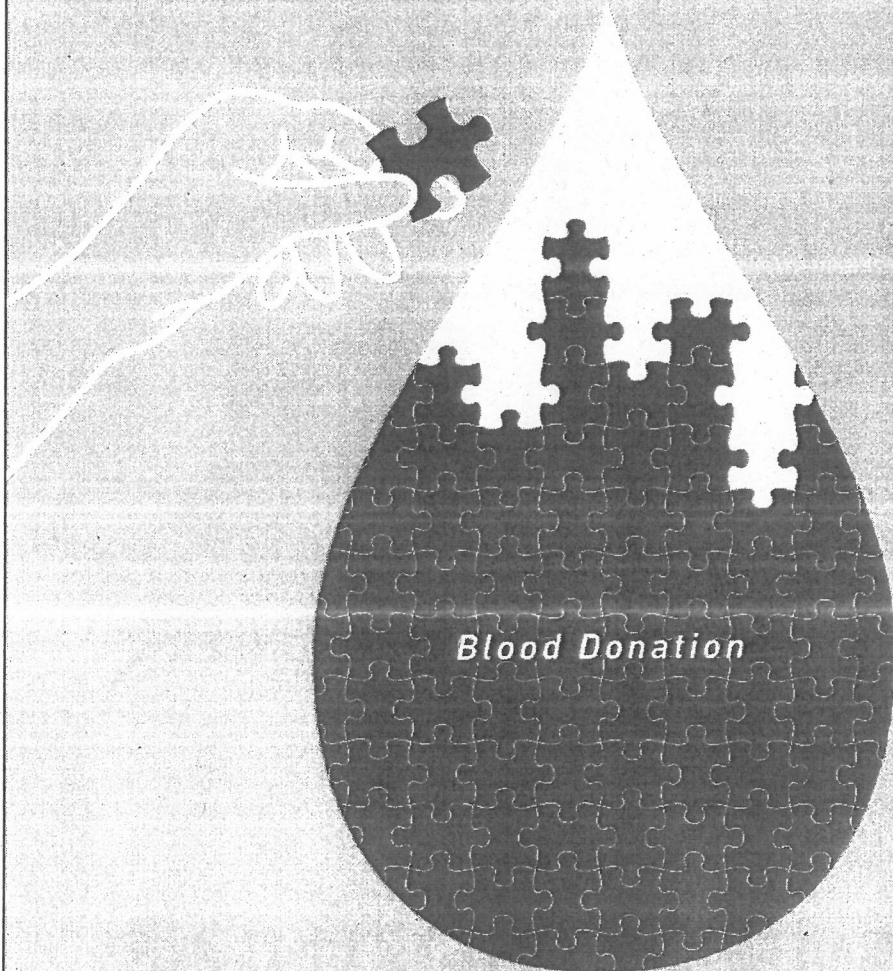
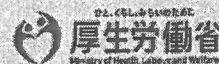
20歳以上	16歳以上	18歳以上
16歳から	17歳から	18歳から

全国少子化対策の一環として、献血の促進を図るため、若くして献血できる年齢を拡大することを目指す。若くして献血できる年齢を拡大するためには、日本赤十字社のホームページをご覧ください。



【主催】厚生労働省、都道府県、日本赤十字社
【後援】文部科学省、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会、日本病院会、全日本病院協会、全国自治体病院協議会、日本新聞協会、日本雑誌協会、NHK、日本民放放送連盟、日本民営放送協会、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本労働組合総連合会、日本経済団体連合会、日本製薬団体連合会、日本血液製剤協会、全日本医薬品登録販売者協会、全国配薬業協会 【協賛】健康保険組合連合会、国民健康保険中央会、社会福祉法人全国社会福祉協議会

誰かの明日を考える。 はたちの献血



「献血」とは、病気やけがの治療で輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分から進んで血液を提供するボランティアです。



血液は、医療技術が進歩した今でも人工的に造ることができず、長期保存もできないため、一年間を通して継続的な献血へのご協力をお願いします。



少子化により献血可能人口が減少している中、特に10代～30代の献血者が減少しています。患者さんに血液をお届けするためには若い皆さんの献血へのご協力が必要不可欠です。

献血にはいくつか種類があり、それぞれ献血できる年齢が決まっています。

	200ml 献血	400ml 献血	成分献血
献血ができる年齢	男 16歳から	17歳から	18歳から
	女 16歳から	18歳から	



血漿分画製剤とは、血液中の血漿と呼ばれる液体からつくられる「くすり」です。やけどや感染症、血友病などの病気の治療に使われています。

献血についての詳しい情報は、日本赤十字社のホームページをご覧ください。>>>>>

日本赤十字社 献血



「はたちの献血」キャンペーン(令和7年1月～2月)

【主催】厚生労働省、都道府県、日本赤十字社 【後援】一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人日本コミュニティ放送協会

高校生の皆さん! 知ってますか? 献血

献血は、病気の治療や手術などで輸血等を
必要としている患者さんのために、
健康な人が血液を無償で提供するボランティア。

血液は、人工的に造れない!

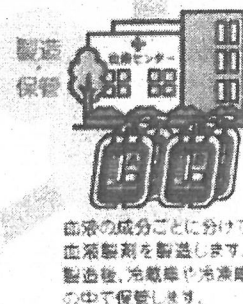
長期保存できない
だから 献血でしか救えない
命があります!!



←まず、患者さんの感謝の声を聞いてみて!

愛媛県 輸血状況 動画

検索 Q



愛媛県では

年間約

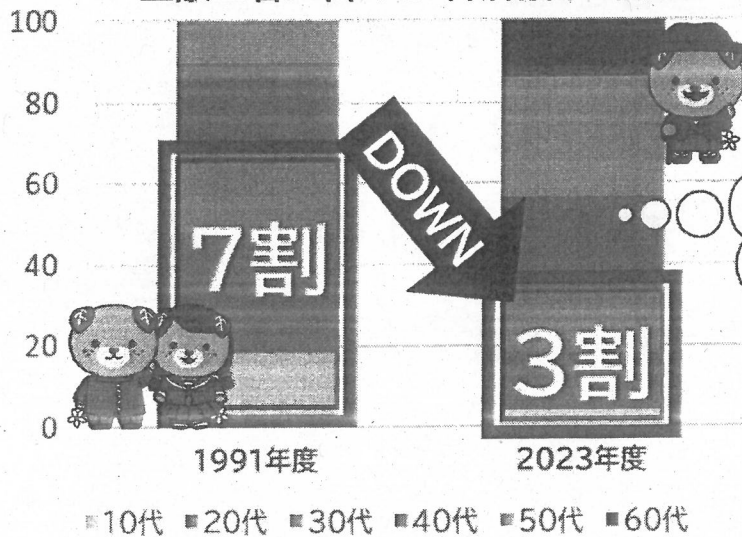
6万人

の協力が必要!

しかし、現在、若い方の協力が減っており、
将来、必要な血液が確保できなくなる
心配があります。



全献血者に占める年齢割合の変化



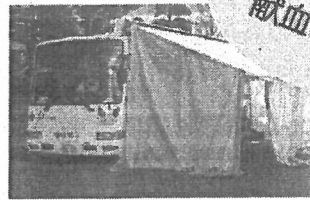
年々50・60代の割合が増加。
一方、若い方の割合は減少傾向が続いています。

400mL献血は
男性 17歳
女性 18歳 から

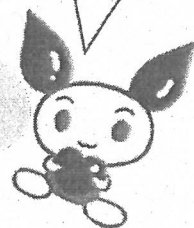
僕が! 私か!と思ったら... 献血に行ってみよう!!

大街道
献血ルーム
(松山市)

施設見学もできるよ



献血バス



献血の流れ ① 受付 ➡ ② 問診・事前検査 ➡ ③ 採血 ➡ ④ 休憩

所要時間: 200mL・400mL献血 30~40分、成分献血 60~90分

献血者の声

初めて献血をした大学生が、感想等を教えてくれました

- 思ったより痛くなかった
- スタッフの人が優しくフォローをしてくれた
- あっという間に終わった。これで人の役に立てるなら、またしたい。
- 記念品が嬉しかった

問合せ先: 愛媛県保健福祉部健康衛生局 薬務衛生課 薬事係
(愛媛県松山市一番町4丁目4-2 ☎089-912-2391)

献血についてのお願い

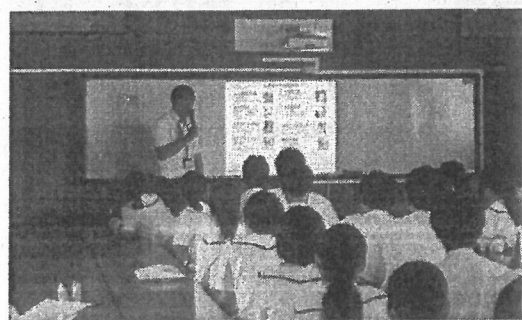
愛媛県では、平成3年度には若年層(10~30代)献血者が全献血者数の7割を占めていましたが、令和5年度は約3割にまで減少しています。

少子高齢化が進み、輸血を必要とする高齢者が増える一方、献血によって支える若者が減っている状況です。

献血可能年齢になる高校生はもちろん、小学生・中学生の頃からの、献血に関する普及啓発が献血思想の育成に大切とされています。献血について学ぶ機会として、是非、次の血液センター等の事業をご活用ください。



いのちの講座について



愛媛県赤十字血液センターでは、小学生、中学生、高校生を対象とした「いのちの講座」をご要望に応じて開校しています。血液の役割や献血が必要な理由など学年や年齢に応じた講座を実施していただけます。

いのちの講座に関するご依頼・ご相談は、愛媛県赤十字血液センターまで。



愛媛県赤十字血液センター 総務課(担当:森):089-973-0700



大街道献血ルームの見学等について

献血可能年齢になった時に、抵抗感なく、献血につながられるよう大街道献血ルームでは見学者の受け入れをしています。ルームの雰囲気や献血の流れを是非、学んでください。

見学のご相談は大街道献血ルームまで。

大街道献血ルーム:089-932-0900



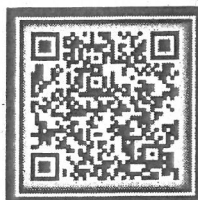
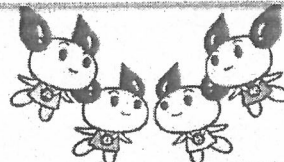
資材の活用について

献血に関する各年代に応じたパンフレットや冊子、動画が厚生労働省及び日本赤十字社のホームページに掲載されています。

特に動画は分かりやすくまとめられており、おススメです!

是非、授業等にご活用ください!

問合せ先:愛媛県保健福祉部健康衛生局 薬務衛生課 薬事係
(愛媛県松山市一番町4丁目4-2 ☎089-912-2391)



日本赤十字社

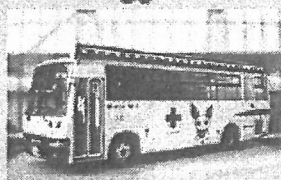


厚生労働省

愛の献血！



踏み出してみませんか？



献血バス

大街道献血
ルーム

地域で見かける献血バスや松山市の大街道献血ルームでボランティアができることを知っていますか？

献血は患者の尊い生命を救うことができないなくてはならない大切なボランティアです！

病気の治療などのために輸血を必要としている人が日本では年間約110万人います！

16歳～69歳	男性 17～69歳 女性 18～69歳	18～69歳	男性 18～69歳 女性 18～54歳
男性45kg以上 女性40kg以上	男女50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
男女とも 4週間後から	男性 12週間後 女性 16週間後	男女とも2週間後から	



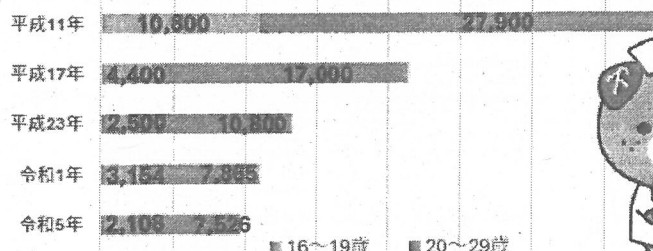
【採血基準詳細】

血液には生きた細胞が入っているため
血液製剤は長期保存ができません！

※主な血液製剤の有効期間

赤血球製剤 28日間
血小板製剤 4日間
血漿製剤 1年間

10代～20代の献血者の推移



なぜ一人一人の
若い世代へ広めるのか

平成3年と比べると現在の若い世代の献血協力者数は10分の1に減少しています。この傾向が続きますと将来的に血液製剤が足りなくなり、救えるはずの命が救えなくなり、だからこそ若い世代一人一人の献血へのご理解とご協力が必要なのです！

資料元：「献血状況報告書」(愛媛県赤十字血液センター)

愛媛県・愛媛県赤十字血液センター・愛媛県学生献血推進協議会



献血を体験された方の声



献血にご協力いた
だいたきっかけ

やってみようと友達に
言われたから

助けを求めている人が
いると知ったから

○型の献血が
足りないを知ったから

献血をしたことがな
い人にメッセージ

一度は挑戦してみ
ませんか

一度の協力で救われる
命があります

友達も巻き込んで
挑戦してみませんか

献血に挑戦
する前と後の
イメージの違い

しんどくなると思っていたが
そんなに変化がなかったからよかった
最初は不安だったけどわかりやすい
説明で安心して献血できた



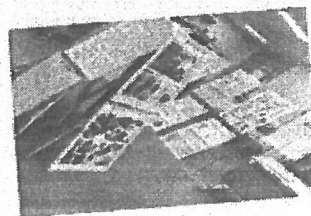
さまざまなイベントも行っております！！



『高校での献血講座』



『愛顔の高校生
献血会議』



『展示会』

イベント情報は
こちらから→ [【献血イベント情報】](#)



あなたの愛あるご協力
心からお待ちしております！！

問合先: 愛媛県保健福祉部健康衛生局業務衛生課 TEL: 089-912-2391
愛媛県赤十字血液センター献血推進課 TEL: 089-973-0755



【愛媛県献血HP】【血液センターHP】

